

日本医師会災害医療チーム：JMAT 活動報告

当院は、東京都医師会からの要請により JMAT 隊 2 隊を 2 月 5-11 日に派遣したので報告する。

活動期間

- ① 2 月 5-8 日
- ② 2 月 8-11 日

隊員

- ① 藤原隆行（循環器内科医師）、青木大宗（救急集中治療科医師）、佐藤明子（救命センター看護師）、佐々木克剛（診療放射線技師）
- ② 白神一博（小児科医師）、佐藤一亮（救急集中治療科医師）、平山祥之（PICU 看護師）、田中一生（管理課）

活動内容

JMAT2 隊は共に能登町役場内の能登北部調整本部の指揮下で活動を行った。

JMAT①は能登町内の高齢者施設で活動した。施設はアクセス経路が陥没しており、水が開通しておらず、電波も不安定な環境だった。入所者の褥瘡回診、発熱者の診療、食事介助や口腔ケア、入所者ではない避難者の医療相談などを行った。対応中に療養入院が必要な方がおり、調整を他機関（DHEAT：災害時健康危機管理支援チーム）と共に行った。4 日間の活動で施設利用者スタッフとの信頼関係を築くことができた。

JMAT②は前隊と同施設での活動を開始したが、施設のニーズの低下とともに同施設への支援が終了となったため、3 日目より珠洲市での活動となった。珠洲市大谷地区の 5 箇所の避難所と、地区の診療所の現状確認を行った。同エリアでは災害支援ナースの支援が継続的に行われており、JPAT や NPO も協力して活動していた。大谷地区の医療需要は充足してきている印象であった。

